

<平成29年度 ハローオリピズム事業>

オリンピック教室

実施報告書

埼玉県 三郷市立早稲田中学校

Olympic
Movement



公益財団法人日本オリンピック委員会



現行の学習指導要領は平成21年（2009）4月に公示され、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目 体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが明確化されました。そこには、中学校3年生の保健体育の「体育理論」の学習内容に、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会等は、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていること」とオリンピックの意義が明示されております。

これを受けて日本オリンピック委員会（JOC）では、平成23年度（2011）から、体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、「ハローオリンピズム事業」の一つとして、授業形式で行う「オリンピック教室」を実施しております。

近代オリンピックの創始者ピエールド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表として実際にオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その榮譽を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められております。このようなオリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることも期待しております。

「オリンピック教室」の授業は、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）及びオリンピック精神の教育的価値等を伝えます。また同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身に学習してもらうこともねらいとしております。

平成23年に施行された「スポーツ基本法」の前文の一部に「スポーツは、世界共通の人類の文化であり、次代を担う青少年の体力を向上させるとともに、他者を尊重しこれと協同する精神、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培い実践的な思考力や判断力を育む等人格の形成に大きな影響を及ぼすものである」との記述があります。生徒のみなさんが「オリンピック教室」で学習する内容は、まさにこの基本法に記された精神や態度等を日常生活の中へ具現化することを後押しするものであると考えています。

- 実施目的** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、オリンピック自身の様々な経験を通して「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、この価値はオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、日常生活にも活かすことの出来るものであることを授業を通して学習してもらう
- 名 称** : JOCオリンピック教室
- 主 催** : 公益財団法人 日本オリンピック委員会
- 後 援** : スポーツ庁
- 協 力** : 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対 象** : 中学2年生
- 講 師** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）
※派遣オリンピックはJOC側にて選定
- 期 間** : 平成29年4月～平成30年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数** : 50校程度
- 実施方法** : クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

1時限目
運動の時間 (50分)



2時限目
座学の時間 (50分)



※学校の通常の授業時間をベースに実施
※運動の時間と座学の時間の間に10分の休憩時間があります

1時限目

運動の時間

オリンピックの専門競技の技術指導（＝スポーツ教室）ではなく、
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶（5分）

準備体操（10分）

主運動（30分）

まとめ（5分）



自己紹介
今日の学習内容の確認



準備体操



主運動
（作戦タイム等）を設け、
生徒が考える機会を作る



運動の授業のまとめ

※時間は目安です
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます

2時限目

国際オリンピック委員会（IOC）が推進する「オリンピックの価値」等を、
オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、あるいは実際に
オリンピック競技大会に出場した経験等を通して、分かり易く伝えると
同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、今後活かせるような学習内容

座学の時間

挨拶・自己紹介（10分）

オリンピックの価値を伝える（10分）

グループワーク（20分）

まとめ（10分）



学習内容の確認



写真・映像等を使用
した自己紹介



オリンピック自身の経験に
基づく「オリンピックの価値」等
を伝える



グループ（個人）ワークで
話し合った内容を発表



全体のまとめ/記念撮影

※時間は目安です
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます



- 期 日 : 平成29年6月20日 (火)
- 場 所 : 埼玉県 三郷市立早稲田中学校
- ク ラ ス : 2年1組 (34名)、2年4組 (35名)
- オリンピアン : 伊藤 華英 先生 (水泳・競泳)
- 授業のながれ : 運動の時間 (1時限、3時限)

1. 自己紹介～授業の目的確認



・伊藤先生から自己紹介をした後、3つのオリンピックバリューを読み上げながら、エクセレンス「一生懸命取り組む」「ベストを尽くす」、フレンドシップ「思いやりを持つ」「協力する」、リスペクト「尊敬し合う」と説明。運動の授業は、全力を尽くし友人と励まし合いながら取り組んでほしいと伝え、準備体操へ移る。

2. 準備体操



3. 主運動



・3班に分かれて8の字跳び(90秒×3回)、2班に分かれて全員跳び(3分間×2回)を実施。
 ・8の字跳びでは、制限時間内で跳んだ回数を競い、1・2回戦は引つ掛けても連続して数え、3回戦のみ0から数え直すこととする。
 ・伊藤先生よりエクセレンスを実行できていたこと、助け合いながらフレンドシップを実践できていたことを伝える。



4. まとめ



・授業冒頭で説明した3つのオリンピックバリューを意識して行動できていたかを皆に確認。座学の時間ではより深くオリンピックについて説明していくと伝え、授業終了。





■ 授業のながれ： 座学の時間（2時限、4時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



2. オリンピックの価値を伝える



・伊藤先生の経験とつなげてオリンピックバリューを伝えるので、皆にもオリンピックバリューを考えてもらいたいと授業の目的を確認。競技中の写真を見せながら、自己紹介をした後、オリンピックの歴史や伊藤先生にとってのオリンピックバリューについて説明。

3. グループワーク



・皆の生活の中にあるバリューを考える。
 ・常に上を目指す、昨日の自分に勝つ(エクセレンス)、思いやりを持って接する、仲間を大切にする(フレンドシップ)、人の目を見て話す、ライバルを認める(リスペクト)等の意見が挙げられた。

4. まとめ



・オリンピックバリューは出場した選手だけのものではなく、皆の生活にも大切な要素であり、これからの人生でたくさんバリューを見つけることができると思う。今日学んだ3つのオリンピックバリューを胸に刻んでこれからの生活に活かしてほしいと話し、授業終了。



- 期 日 : 平成29年6月20日 (火)
- 場 所 : 埼玉県 三郷市立早稲田中学校
- ク ラ ス : 2年5組 (35名)
- オリンピアン : 藤丸 真世 先生 (水泳・シンクロナイズドスイミング)
- 授業のながれ : 運動の時間 (5時限)

1. 自己紹介～授業の目的確認



・藤丸先生から自己紹介をした後、今回の授業とオリンピックがどのようにつながっているかを知ってほしいと授業の目的を確認。運動の時間では「全力で、力を抜かずに一生懸命取り組む」ことを約束し、準備体操に移る。

2. 準備体操



3. 主運動



・3班に分かれて8の字跳び(90秒×3回)を実施。90秒間で跳んだ回数を競い、引っ掛かったり間が空いてしまったら0から数え直すこととし、全力で取り組むよう伝える。
 ・藤丸先生より作戦タイム中の話し合いが皆で良く出来ていたことや、積極的に練習を行っていたことがとても良かったと伝える。



4. まとめ



・運動の時間で皆が一生懸命頑張っていたことはオリンピックバリューにもつながっていると話す。冒頭で話した3つの約束事を実践できていたことを拍手で称え、授業終了。





■授業のながれ：座学の時間（6時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



・簡単な自己紹介の後、映像を見せながら競技について説明。藤丸先生の経験と3つのオリンピックバリューをつなげながら説明。

2. オリンピックの価値を伝える



3. グループワーク



・学校生活で取り組みたいオリンピックバリューを考えよう。
 ・目標を立て毎日頑張る、何事にも努力する(エクセレンス)、声を掛け合う、友達を大切にする(フレンドシップ)、仲間を尊重する、当たり前のことにも感謝する(リスペクト)等の意見が挙げられた。

4. まとめ



・2020年には東京でオリンピックが開催されるが、選手として出場するだけでなくボランティア等でも関わられるので、自分にできることを見つけてぜひ関わってほしいと伝え、授業終了。



- 期 日 : 平成29年6月21日 (水)
- 場 所 : 埼玉県 三郷市立早稲田中学校
- ク ラ ス : 2年3組 (34名)、2年2組 (35名)
- オリンピアン : 勅使川原 郁恵 先生 (スケート・ショートトラック)
- 授業のながれ : 運動の時間 (3時限、5時限)

1. 自己紹介～授業の目的確認

2. 準備体操



・勅使川原先生から自己紹介と、来年開催される平昌大会に触れながら競技を紹介した後、運動と座学の流れを確認し、準備体操に移る。

3. 主運動



・6班に分かれてショートトラックリレーを実施。輪の周りを反時計回りで12周する速さを競う。ロープを踏まずに外側を走り最終走者がゴールしたら、全員が輪の中に座る、途中で転んでしまったら班全員でトレーニングをする、1回戦は全員が1人2周、2回戦・3回戦は1人必ず1周するが12週の割り振りは自由とすることをルールとして確認。4回戦のみ時計回りにルール変更。

4. まとめ



・皆が一生懸命考えてくれたり、全力で取り組んでくれてとても嬉しかったと話し、3つのオリンピックバリューを実践できていたと皆を称える。座学の時間ではオリンピックについてより詳しく説明すると伝え、授業終了。



■ 授業のながれ： 座学の時間（4時限、6時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



- ・オリンピックについてより詳しく学ぼうと授業の目的を確認。実際に使用していたスケート靴と映像を見せながら競技紹介。
- ・オリンピズムについて説明し、3つのオリンピックバリューの大切さを勅使川原先生の経験と共に伝える。

2. オリンピックの価値を伝える



3. グループワーク



- ・今後の生活や部活動、自分の夢を叶えるために取り組みたいことをオリンピックバリューに当てはめて考える。
- ・全力で取り組む、たくさん練習する、失敗してもあきらめない(エクセレンス)、相手の良いところを見つけて参考にする、助け合う(フレンドシップ)、周りの人を大切にして感謝の気持ちを忘れない、思いやりを持つ(リスペクト)等の意見が挙げられた。

4. まとめ



- ・3つのオリンピックバリューを今後の日常生活の中でも心に留め、様々なことに挑戦して夢を叶えてほしい。目標に向かってあきらめずに努力をして、感謝の気持ちを持って生活してほしいと伝え、授業終了。



■ 集合写真

2年1組



2年2組





■ 集合写真

2年3組



2年4組





■ 集 合 写 真

2年5組





■ 記念品贈呈

2年1組



2年2組



2年3組



2年4組



2年5組



■ 証明書贈呈

